

2015年12月19日(土)

## 忘年登山 金時山

～レポート by 熊本～

2015年の最後を飾る忘年登山は、12月19日に富士山が間近に見える箱根 金時山（1213m）を企画した。今回は2011年12月の忘年登山と同じ金時山以来、4年ぶり参加の原田（仁）さんをお迎えして、岡部さん、布目さん、小山さん（以上3Bの揃い踏み）、堀さん、根岸さん、能勢さん、高橋（文）さん、石井さん、熊本の計10名の参加者であり、昨日までの寒い曇天から快晴となり素晴らしい天気となった。

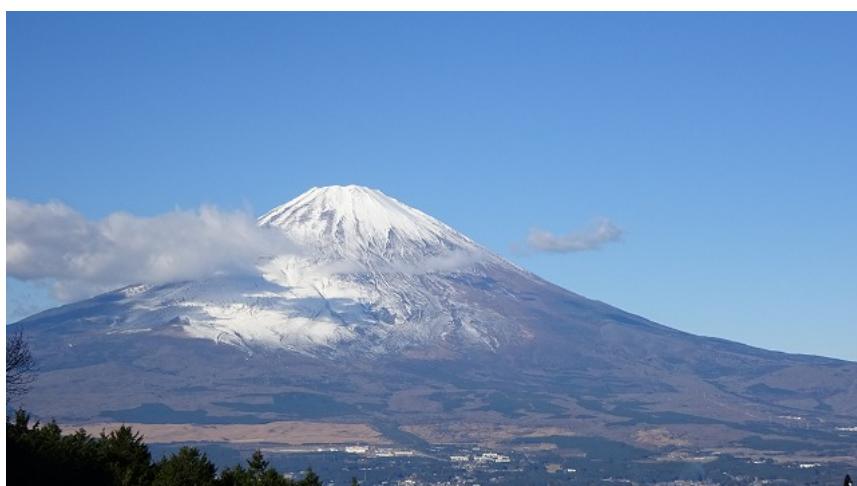
箱根湯本 9:00 集合に合わせ、小田原から8:33発の箱根登山鉄道に乗り込む。



8:50に箱根湯本に到着、バスターミナル9:20発「時の栖」行のバスを待つ。原田さんとの再会で話が弾む。



バスは仙石を経由し、仙石登山口、乙女口登山口を過ぎると、大湧谷から濛々と白い噴煙が立ち上がるのが見えた。噴火危険レベルが下がったとはいえ、まだまだ要注意のようだ。金時山直下のトンネルを抜けると、乙女峠で正面に富士山の雄姿が大きく飛び込んできて、バス乗り合い者から「ウオー！」と歓声があがった。



乙女峠バス停の茶屋で登山準備をする。

金太郎（坂田金時）と金時山との由来が記されていた。

金太郎が金時山の麓で生まれたそうで、これが名前の成り立ちだ。



登山準備を整え、富士山をバックに記念撮影し登山開始する。(10:00)



左から石井さん、熊本、根岸さん、布目さん、高橋（文）さん、小山さん、岡部さん、原田さん、能勢さん、堀さんの10名



トンネルの出口近くに登山口標識があり、道路を渡り林道を進む。



暫く林道を進む

5分ほど砂利道を歩くと登山道入口の標識が出てきた。これから本格的な山道に入る。



登り始めから勾配の急な階段状の登山道を登る。



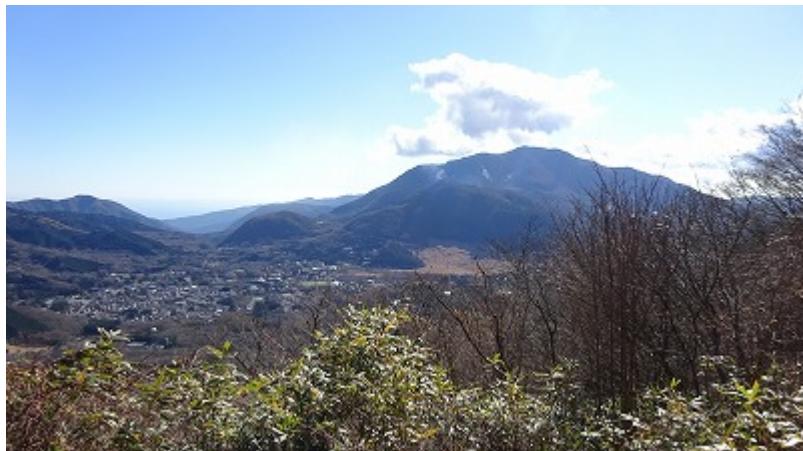
登り始めて約 20 分経過し体が温まり、汗をかかないようにユックリ登る。



約 30 分登り (10:33)、乙女峠の展望台に到着。  
富士山が良く見える。



乙女峠バス停から 30 分ほど経つただけだが、富士山に掛かる雲が厚みを増してきた。



富士と反対側には神山・駒ヶ岳、大湧谷、仙石原、更に明神岳の展望が開けていた。  
乙女峠で最初の休憩を取った。



更に 20 分ほど高度を稼ぐ。

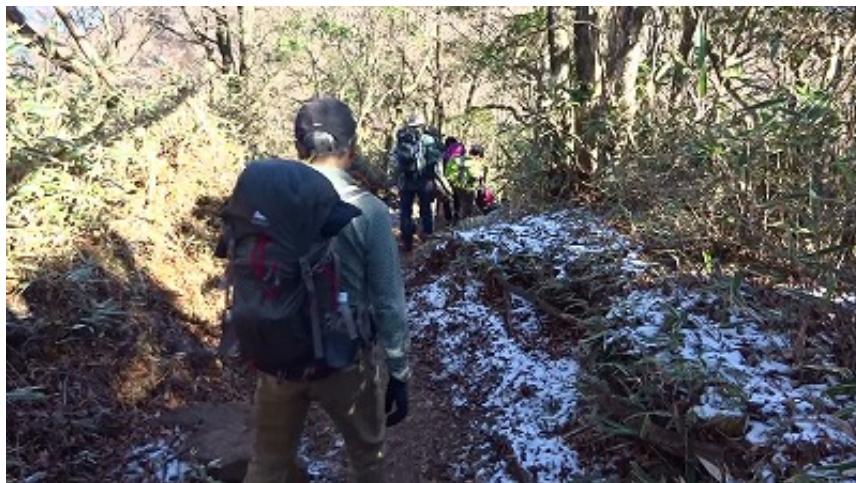


登り始めから約1時間（11:03）で長尾山（1119m）に到着し、2回目の休憩を取る。

一昨日降った初冠雪がまだ白く薄っすらと残っていた。



休憩後、金時山山頂に向かい始め、  
小山さんがストック1本忘れてスタス  
タと……  
石井さんが追いかけて贈呈式?  
年末最後の物忘れ!  
堀さん第三号の資格十分か?



雪が凍結して滑りやすくなってきた。

長尾山から暫くフラットな登山道が続き、左に富士を眺めながら左から巻くようにして一旦下る。

山頂への登りは急登で、岩場や鎖場の連続になる。



急登を詰め、登り開始から 1 時間 40 分で前方にやっと、金時山頂が見えてきた。



山頂は人、人、人で我々の昼食を取るスペースを確保するのに一苦労する。



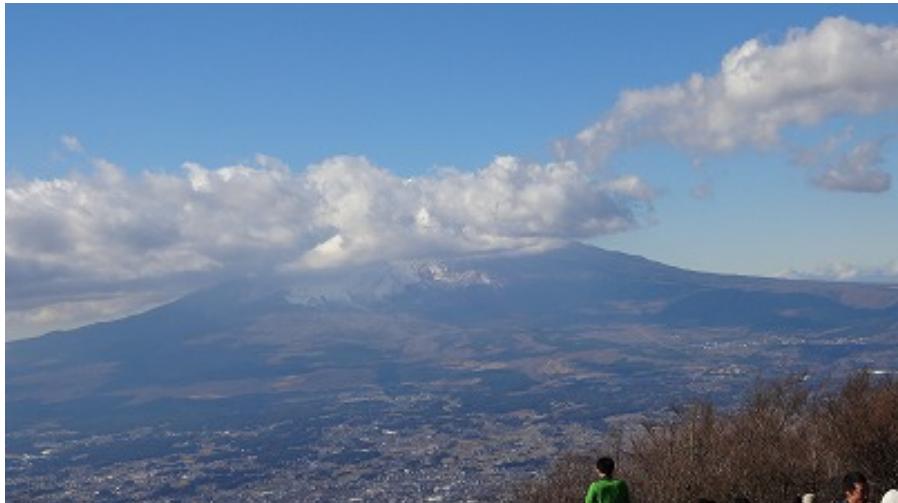
やっと岩陰のところに分散して昼食を取った（11:50～12:20）。  
今回も女性陣が持ち寄ってくれた手造り惣菜を美味しく頂いた。  
ご馳走様でした。



金時娘も年を重ねて杖を突いていたが、  
口は達者で営業活動に息巻いていた。



上空は眩しいほどの青空の中で、山頂登頂の記念写真を撮る（12:20） 1213m



富士山の山頂はすっかり雲に隠れてしまった。

12時を過ぎると、山頂が見えないケースが多い。

従って、今回のように、乙女峠から登り、午前中に富士を拝むのが正解だ。



山頂で別パーティーで登っていた岡部さんの友人、塩野さんに出会った。



12:30 山頂を後にし、仙石方向の公時神社へ下山する。



10分ほど下ると、仙石登山口、公時神社登山口への分岐に出て、後者のコースを下る。



金時宿り石 大きな岩で真ん中に割れ目ある。

原田さんは遂に太ももに張が出てバンテリンをぬる。



原田さんのペースに合わせユックリ下る、後続のサポート隊がしっかり守る。



13:55 公時神社に到着、無事下山のお礼参拝をする。

仙石バス停まで歩き、予定より一本早い、小田原行のバスに乗れた。

宮ノ下あたりからの渋滞を心配したが、至極スムーズに運行し箱根湯本に到着した。温泉組合の送迎バス（¥100）で日帰り温泉「箱根の湯」に向かう。15時発の臨時便に乗れた。



箱根の湯（割引券で¥950）

自家源泉 100%（2本）の露天風呂でユックリと疲れを癒す。



大広間は空いており、生ビールで、忘年登山の締めで乾杯！



タップリ休憩し、箱根の湯を後にし、再び送迎バスで箱根湯本へ



小田急線組は特急ロマンスカーで



JR組は登山鉄道で小田原へ



先月、箱根湯坂道の帰りに、小田原駅でリニューアル中のため、箱根そばを食べそこねていた。

今回は、石井さん、堀さん、根岸さん、熊本の4人で「小柱と春菊のダブルかき揚そば」(¥480)を食した。

なかなか旨かった。駅そばにしては申し分ない。

2015年クマさん会も、今回の忘年登山 金時山をもって、27回山行を全て無事終了した。

滑った・転んだは、あったが大過なく、全行程を無事終えたことに感謝したい。

来年はクマさん会 20周年記念の年であり、多くのイベントがあり楽しみである。